

◆ **協議会規約変更について**

< **事務局** >

- ・協議会規約変更（案）については、委員から意見無しのため、本日（11月22日）付で改訂する。

◆ **議事に対する委員からの意見**

< **玉川村長 須金 泰一** >

- ・遊水地整備についてはしっかりとした根拠ある計画で小さな声にぜひ耳を傾けていただきたいと思いますし、寄り添いながら取り組んでいただきたいと思います。
- ・遊水地の利活用につきましても、有害鳥獣の住処になってしまうということは本当にあってはならないと思っておりますし、孫子の世代に負の遺産として残すことのないようにしっかりと対応していただきたいと思います。そして住民の皆様方が希望する有効な利活用計画をぜひとも国の皆さんが中心となってまとめていただきたいと思いますし、強く要望させていただきます。
- ・昨年、遊水地内を農地利用できるよう制度改正していただきましたが絵に描いた餅にならないよう使える制度にしていきたいと思います。

< **福島河川国道事務所長 望月 貴文** >

- ・住民の方の生活再建というのは本当に一番重要なことだと考えております。生活再建が進むように住民に寄り添った対応を今後もしていきたいと考えております。
- ・利活用に関するお話がございました。整備後の適切な維持管理について、有害鳥獣の住処というお話もございましたけれども、それでは適切な管理といえませんが、そこもしっかりと考えた対応をしていきたいと思っております。例えば除草など、敷地内の維持管理というのは、遊水地に限らず全国的に、また自治体の皆さんにとっても重要な問題になっているのかなと思っております。例えば、新技術の開発を一緒に行って、低コストで行える除草機械を使うなどそういったことも積極的に取り組みながら今後の維持管理のことについて一緒に考えていけたらと考えております。
- ・農業に関して新しい制度を作ったけれども絵に描いた餅にならないようしっかりとしないといけないということは、全くその通りだと思っております。様々な課題があることは我々も認識しております。様々な関係者と連携しながら一つ一つ具体的に課題解決していきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

< 郡山市長 品川 万里 >

- ・気候変動にどう対応するかということですが、日本列島の中でも、特に北海道・東北地方は気候変動の影響を大きく受けてとされています。このことについて、もっとアピールしていくべきと思います。

< 福島河川国道事務所長 望月 貴文 >

- ・気候変動の影響は大きいことは皆さんからご意見いただいたとおりでございます。例えば流域治水プロジェクトも気候変動への対応を加味して見直しを行う、また阿武隈川上流の河川整備計画につきましても気候変動の影響をしっかりと加味して見直しを行うなど、気候変動の影響を考慮して整備していくというのが前提になっていると思いますので、そのもとで国の事業も進めていければと思っております。

< 浅川町長 江田 文男 >

- ・玉川村の土地の買収率12%というのはかなり低いと思っております。なぜ低いのかお聞きしたい。
- ・町民、村民の小さな意見を大事にして聞いていただきたいということをお話いただきましたが、国としてどうお考えでしょうか。

< 事務局 >

- ・各遊水地毎に進捗状況に違いがありまして第3遊水地の方は55%まで進捗しております。こちらは農地だけが対象になる用地協議の方を先行して実施していることによるもので、第3遊水地の方は家屋移転の数の方は他の第1・第2に比べると少なく、農地のみの方が多いということもあり、進んでいる状況です。
- ・住民のみなさまの小さな声、意見についてもしっかりと聞き入れながら、寄り添って対応していきたいと思っておりますので引き続きよろしくお願いたします。

< 玉川村長 須金 泰一 >

- ・補足しますと、用地買収が進んでいないというのは、テクニックみたいところがあって、税金控除が一度しかできないため、農地・宅地両方をまとめて一括で契約するようにしているためです。見かけ上の進捗率は低いですが、反対しているわけではないということだと思っております。

< 事務局 >

・補足いただきありがとうございます。事務的な話になりますが、税金の控除（5000万特別控除）が受けられるのが一回と決まっていますので、そこは地域に寄り添い、住民の方々の負担を軽減するためにも、そういった形で順次進めているところです。やはり家屋移転の方は、農地だけの方と違ってすぐというわけにもいかないの、見かけ上は少し進んでないように見えますけれども、随時その辺りも進めていくところです。

◆ 全体を通して委員からの意見

< 郡山市長 品川 万里 >

・我々がなぜここに座っているかと言うと、福島河川国道事務所さんに物を言うのではなくて、ここに集まった人達が一致団結して国に物を言うための場だとして私は認識しております。河川国道事務所さんに言うのではなくて、その上位機関の国交省本省を動かすことだと思います。我々が次にやることは、国会議員に対して、河川国道事務所さんの努力が無駄にならないように、国交省本省に先生方もどんどん物を言っていただきたいということ伝えていくことだと思うのですがいかがでしょうか。

< 本宮市長 高松 義行 >

・今防災・減災の中で予算をしっかりと担保しなければならない中で来年度予算がどうなるのかというのを非常に危惧しております。そういった中でも品川市長がおっしゃったとおり動ける時はしっかりと動いて予算要求をしっかりとすべきだと思っていて、国交省さんよりはこちら側が動く方が私は良いのではないかと思います。

< 福島河川国道事務所長 望月 貴文 >

・大変心強いお言葉をいただき、ありがとうございます。もちろん我々としてもしっかりと予算確保していきたいと思っておりますが、皆様方のお力添えもいただければと思いますのでよろしく願いいたします。